

獨協医科大学埼玉医療センター 公的医療機関等2025プラン

平成30年 7月 策定

【獨協医科大学埼玉医療センターの基本情報】

医療機関名：獨協医科大学埼玉医療センター

開設主体：学校法人獨協学園

所在地：埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

許可病床数：923床

(病床の種別)

一般病床 923床

(うち ERICU 10床、ICU 10床、SCU 18床、MFICU 9床 NICU 9床 GCU 24床)

(病床機能別)

高度急性期 104床、急性期 819床

稼働病床数：751床 (平成30年7月31日現在)

(病床の種別)

一般病床 751床

(うち ERICU 10床 ICU 10床 SCU 12床 MFICU 3床 NICU 3床 GCU 6床)

(病床機能別)

高度急性期 68床 急性期 683床

診療科目：糖尿病内分泌・血液内科、呼吸器・アレルギー内科、消化器内科、循環器内科
腎臓内科、神経内科、小児科、こころの診療科、皮膚科、放射線科、総合診療科
外科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、産科婦人科、小児外科、眼科
耳鼻咽喉科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科、救急医療科、集中治療科
麻酔科、乳腺科、リハビリテーション科、病理診断科

職員数：1,748名 (平成30年3月31日現在)

(内 訳)

医師 259名 (うち歯科医師3名)

看護職員 675名

薬剤師 41名

臨床検査技師 62名

放射線技師 46名

リハビリテーション技師 31名

臨床工学技士 13名

臨床研修医 28名

事務職員 125名

医療クレーク 37名

その他 431名 (栄養士、臨床心理士、看護補助等)

【1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

※埼玉県東部地域の地域保健医療計画に準ずる

② 構想区域の課題

※埼玉県東部地域の地域保健医療計画に準ずる

③ 自施設の現状

当院は、「常に研鑽し患者さまの信頼にこたえる」という理念の下、次の基本方針を掲げ、埼玉県東部地域の基幹病院として、同地域はもとより、広域から患者を受け入れ、高度で良質な医療を提供している。

【理念・基本方針】

- 理 念 常に研鑽し患者さまの信頼にこたえる
基本方針 1 患者さまを中心とした医療の実践
2 高度先進医療と安全な医療の提供
3 チーム医療の実践
4 人間性豊かな医療人の育成
5 連携医療の構築

当院が認定を受けているもの

災害拠点病院
地域医療支援病院
救命救急センター（3次医療機関）
2次救急輪番病院
小児2次救急輪番病院
地域がん診療連携拠点病院
搬送困難受入病院（6号基準）
地域周産期母子医療センター
臨床研修指定病院

【診療実績】

届出入院基本料 一般病院7対1入院基本料

平成29年度の主な実績

1日平均外来患者数：1,736.7人
1日平均入院患者数：672.9人
平均在院日数：12.2日
病床稼働率：90.6%
紹介率：73.7%
逆紹介率：64.0%
手術件数：8,987件

医療ニーズに即したセンターの設置

救命救急センター、腫瘍センター、子どもこころ診療センター、内視鏡センター
透析センター、前立腺センター、遺伝カウンセリングセンター、
リプロダクションセンター、超音波センター、血管内治療センター
周産期母子医療センター、移植センター、放射線治療センター、低侵襲治療センター

④ 自施設の課題

医師・看護師等の医療従事者の確保
優れた高度専門医療人の育成

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

当院は、第6次埼玉県地域保健医療計画において、周産期医療や救急医療の充実等を図る病院整備計画を申請し、200床増床の許可を受けた。さらに、平成29年度には地域医療支援病院としての認可を受けたことから、今後も高度急性期及び急性期医療を担う地域の基幹病院として専門的な治療が必要な患者の診断、受入など地域医療機関との機能分化を図りつつ、高度で良質な医療を提供する。

平成29年11月に完成した新棟には、ハイリスク患者や高齢患者に対する低侵襲治療を目的とした手術支援ロボット「ダビンチ」やハイブリット手術室、CT併設の手術室など22室の手術エリアを整備し、さらに高度最先端の医療を提供する。

また、神経難病や薬物療法、術後のカテーテル管理など地域の医療サービスでは受入が困難な退院患者を支援するため、在宅医療部門を設置し、状態が安定してから地域の訪問看護ステーションなどに引き継ぐ体制を確立中である。

② 今後持つべき病床機能

- ・周産期母子医療センター
M F I C U 9床、N I C U 9床、G C U 24床のフル稼働
- ・S C U
S C U 18床のフル稼働
- ・救命救急センター
3次救急病床の増床（E R I C U 8床増床）
- ・H C U
H C U 8床稼働

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	48床	→	120床
急性期	675床		803床
回復期	0床		0床
慢性期	0床		0床
(合計)	723床		923床

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	第6次埼玉県保健医療計画において、許可を受けた高度急性期・急性期の200床の増床	新病棟411床の開設	
2018年度	周産期病床の稼働 ICUの稼働 SCUの稼働	高度急性期病床の稼働 MFICU 3床(+3) NICU 3床(+3) GCU 6床(+6) ICU(一般) 10床(+10) SCU 12床(+6)	
2019～2020年度	周産期病床の稼働増 SCUの稼働増 HCUの稼働 ERICUの増床 急性期病棟の稼働増	高度急性期病床の稼働 MFICU 9床(+6) NICU 9床(+6) GCU 24床(+18) SCU 18床(+6) HCU 8床(+8) ERICU 18床(+8) 急性期病棟 稼働数未定	
2021～2023年度	急性期病棟の稼働増	急性期病棟 803床フル稼働	

② 診療科の見直しについて

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	リウマチ・膠原病内科 甲状腺外科
廃止		→	
変更・統合	糖尿病内分泌・血液内科	→	糖尿病・内分泌内科 血液内科

③ その他の数値目標について

<p><u>医療提供に関する項目</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病床稼働率：95.0% ・ 手術室稼働率：65.0% ・ 紹介率：80.0% ・ 逆紹介率：70.0% <p><u>経営に関する項目*</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費率：未記載 ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：未記載 <p>その他：特になし</p>

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)

--